

平成 18 年度 決算 説明 資料

株式会社 武蔵野銀行

目 次

I 平成18年度決算の概要

1. 概要	単	1～2
2. 損益状況	単・連	3～4
3. 業務純益	単	4
4. 利鞘	単	5
5. 有価証券関係損益	単	5
6. 自己資本比率	単・連	6
7. ROE	単	6

II 貸出金等の状況

1. 自己査定と償却・引当基準		7
2. リスク管理債権の状況	単・連	8
3. 貸倒引当金の状況	単・連	9
4. リスク管理債権に対する保全率	単	9
5. 金融再生法開示債権	単	10
6. 金融再生法開示債権の保全状況	単	10
〈参考〉金融再生法の開示債権とリスク管理債権の状況	単	11
7. 業種別貸出金状況等		
① 業種別貸出金	単	12
② 業種別リスク管理債権	単	12
③ 業種別リスク管理債権の貸出金残高比率	単	13
④ 個人ローン残高	単	13
⑤ 中小企業等貸出金比率	単	13

I 平成18年度決算の概要

1. 概要【単体】

① 財務状況等

(単位:百万円)

	平成19年3月期		平成18年3月期
		平成18年3月期比	
経常収益(a)	72,340	7,552	64,788
経常費用(b)	54,010	7,153	46,857
業務粗利益	56,924	2,048	54,876
資金利益	51,205	1,466	49,739
役務取引等利益	6,109	598	5,511
その他業務利益	△ 390	△ 15	△ 375
債券5勘定戻	△ 1,808	△ 340	△ 1,468
経費(除く臨時処理分)(△)	35,197	255	34,942
実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	21,726	1,793	19,933
コア業務純益	23,535	2,134	21,401
一般貸倒引当金繰入額(△)	△ 149	1,299	△ 1,448
業務純益	21,876	494	21,382
臨時損益	△ 3,544	△ 93	△ 3,451
不良債権処理損失(△)	4,168	1,670	2,498
株式3勘定戻	2,148	1,811	337
株式等償却(△)	283	180	103
経常利益(a)-(b)	18,329	399	17,930
特別損益	206	△ 154	360
税引前当期純利益	18,536	246	18,290
法人税、住民税及び事業税(△)	6,310	2,833	3,477
過年度未払法人税等戻入額(△)	△ 566	△ 566	—
法人税等調整額(△)	1,033	△ 3,043	4,076
当期純利益	11,758	1,023	10,735
自己資本比率	10.51%	0.30%	10.21%
年間配当	60円	5円	55円

(注)コア業務純益とは、業務純益に対し一般貸倒引当金繰入額と債券5勘定戻を加減調整したものの。

- (1) 本業の収益力を示すコア業務純益は、貸出金の増加や預り資産の販売好伸を主因に235億円を計上し、5年連続して過去最高益を更新いたしました。
- (2) 経常利益は、不良債権処理損失の一時的増加があったものの、183億円と前期比増益を確保いたしました。
- (3) 当期純利益は117億円と5年連続で過去最高益を更新することができました。
- (4) 3月末時点の有価証券評価損益は株価の安定傾向等を反映し、225億円の益超となりました。
- (5) 自己資本比率は10.51%と、内部留保や社債発行の効果などから、前年比0.30%のプラスとなりました。
なお、今期から新基準(バーゼルⅡ基準)に基づき、算定しております。
- (6) 期末配当金は、1株当たり30円(年間60円)といたします。

② 主要勘定の状況

ア. 貸出金

(単位:億円、%)

	平成19年3月期	平成18年3月期比	平成18年3月期
		(年間増加率)	
期末残高	24,515	1,834 (8.1)	22,681
平均残高	23,102	1,614 (7.5)	21,488

貸出金につきましては、県内地元企業及び個人のお客様の借入ニーズに積極的にお応えするべく取り組みました結果、当期末の貸出金残高は前年比1,834億円(年率+8.1%)増加し、2兆4,515億円となりました。

イ. 預金等

(単位:億円、%)

	平成19年3月期	平成18年3月期比	平成18年3月期
		(年間増加率)	
期末残高	30,336	1,380 (4.8)	28,956
(うち預金残高)	29,650	844 (2.9)	28,806
平均残高	29,254	931 (3.3)	28,323
(うち預金残高)	28,860	570 (2.0)	28,290

預金につきましては、お客様の利便性が高く地域に密着した営業基盤の拡充に努めましたことなどから、当期末の預金等(譲渡性預金含む)残高は、前年比1,380億円(年率+4.8%)増加し、3兆336億円となりました。

(参考) 預り資産

(単位:億円、%)

	平成19年3月期	平成18年3月期比	平成18年3月期
		(年間増加率)	
投資信託残高	1,631	385(30.9)	1,246
年金保険残高	845	271(47.2)	574
国債残高	1,826	386(26.8)	1,440
預り資産残高	4,304	1,044(32.0)	3,260
預金等+預り資産	34,640	2,424(7.5)	32,216

預り資産残高は、4,304億円と、前年比1,044億円(年率+32.0%)増加し、期末預金等残高との合算では、3兆4,640億円と、前年比2,424億円(年率+7.5%)の増加となりました。

2. 損益状況【単体】

(単位:百万円)

	平成19年3月期		平成18年3月期
		平成18年3月期比	
業 務 粗 利 益	56,924	2,048	54,876
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	58,732	2,388	56,344
国内業務粗利益	55,974	2,220	53,754
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	57,687	2,580	55,107
資 金 利 益	50,364	1,641	48,723
役務取引等利益	6,047	604	5,443
その他業務利益	△ 437	△ 25	△ 412
(うち国債等債券損益)	△ 1,712	△ 360	△ 1,352
国際業務粗利益	949	△ 172	1,121
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	1,045	△ 191	1,236
資 金 利 益	840	△ 176	1,016
役務取引等利益	61	△ 7	68
その他業務利益	46	10	36
(うち国債等債券損益)	△ 96	19	△ 115
経費(除く臨時処理分)(△)	35,197	255	34,942
人 件 費(△)	18,203	△ 319	18,522
物 件 費(△)	15,326	729	14,597
税 金(△)	1,667	△ 155	1,822
実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	21,726	1,793	19,933
コア業務純益	23,535	2,134	21,401
①一般貸倒引当金繰入額(△)	△ 149	1,299	△ 1,448
業 務 純 益	21,876	494	21,382
うち国債等債券損益(5勘定戻)	△ 1,808	△ 340	△ 1,468
臨 時 損 益	△ 3,544	△ 93	△ 3,451
②不良債権処理損失(△)	4,168	1,670	2,498
貸出金償却(△)	—	△ 5	5
個別貸倒引当金繰入額(△)	4,147	1,851	2,296
延滞債権売却損(△)	21	△ 175	196
(貸倒償却引当費用 ①+②)	4,019	2,970	1,049
株式等関係損益	2,148	1,811	337
株式等売却益	2,714	1,957	757
株式等売却損(△)	282	△ 34	316
株式等償却(△)	283	180	103
その他臨時損益	△ 1,524	△ 234	△ 1,290
経 常 利 益	18,329	399	17,930
特 別 損 益	206	△ 154	360
うち固定資産処分損益	△ 83	△ 17	△ 66
固定資産処分益	—	△ 2	2
固定資産処分損(△)	83	14	69
うち減損損失(△)	20	△ 150	170
税引前当期純利益	18,536	246	18,290
法人税、住民税及び事業税(△)	6,310	2,833	3,477
過年度未払法人税等戻入額(△)	△ 566	△ 566	—
法人税等調整額(△)	1,033	△ 3,043	4,076
当 期 純 利 益	11,758	1,023	10,735

【連結】

(単位:百万円)

	平成19年3月期	平成18年3月期	
		平成18年3月期比	平成18年3月期
連結粗利益	59,240	2,092	57,148
資金利益	51,409	1,443	49,966
役務取引等利益	7,577	647	6,930
その他業務利益	253	2	251
営業経費(△)	36,269	△ 66	36,335
不良債権処理損失(△)	5,820	3,077	2,743
貸出金償却(△)	58	△ 59	117
個別貸倒引当金繰入額(△)	5,601	2,924	2,677
一般貸倒引当金繰入額(△)	139	386	△ 247
延滞債権売却損(△)	21	△ 175	196
株式等関係損益	2,148	1,809	339
その他	△ 361	△ 784	423
経常利益	18,936	105	18,831
特別損益	83	△ 281	364
税金等調整前当期純利益	19,020	△ 176	19,196
法人税、住民税及び事業税(△)	7,279	3,397	3,882
過年度未払法人税等戻入額(△)	△ 566	△ 566	—
法人税等調整額(△)	330	△ 3,645	3,975
少数株主利益(△)	217	△ 300	517
当期純利益	11,759	938	10,821

(注)連結粗利益=(資金運用収益-資金調達費用)+(役務取引等収益-役務取引等費用)+(その他業務収益-その他業務費用)

3. 業務純益【単体】

(単位:百万円)

	平成19年3月期	平成18年3月期	
		平成18年3月期比	平成18年3月期
(1) 実質業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	21,726	1,793	19,933
職員一人当たり(千円)	11,056	776	10,280
(2) 業務純益	21,876	494	21,382
職員一人当たり(千円)	11,132	105	11,027

(注)職員数は期中平均人員を使用しております。

4. 利鞘【単体】

(1) 全体

(単位:%)

	平成19年3月期	平成18年3月期	
		平成18年3月期比	平成18年3月期
(1) 資金運用利回(A)	1.84	0.04	1.80
(イ) 貸出金利回	1.99	△ 0.01	2.00
(ロ) 有価証券利回	1.51	0.14	1.37
(2) 資金調達原価(B)	1.34	0.05	1.29
(イ) 預金等利回	0.10	0.07	0.03
(ロ) 外部負債利回	3.18	0.99	2.19
(3) 総資金利鞘(A)-(B)	0.50	△ 0.01	0.51

(2) 国内部門

(単位:%)

	平成19年3月期	平成18年3月期	
		平成18年3月期比	平成18年3月期
(1) 資金運用利回(A)	1.81	0.06	1.75
(イ) 貸出金利回	1.99	△ 0.01	2.00
(ロ) 有価証券利回	1.42	0.14	1.28
(2) 資金調達原価(B)	1.32	0.05	1.27
(イ) 預金等利回	0.09	0.07	0.02
(ロ) 外部負債利回	2.35	0.61	1.74
(3) 総資金利鞘(A)-(B)	0.49	0.01	0.48

5. 有価証券関係損益【単体】

(単位:百万円)

	平成19年3月期	平成18年3月期	
		平成18年3月期比	平成18年3月期
(1) 国債等債券損益 (5勘定戻)	△ 1,808	△ 340	△ 1,468
(イ) 売却益	870	444	426
(ロ) 償還益	0	△ 4	4
(ハ) 売却損(△)	2,593	993	1,600
(ニ) 償還損(△)	85	△ 214	299
(ホ) 償却(△)	-	-	-
(2) 株式等損益 (3勘定戻)	2,148	1,811	337
(イ) 売却益	2,714	1,957	757
(ロ) 売却損(△)	282	△ 34	316
(ハ) 償却(△)	283	180	103

6. 自己資本比率

【単体】

(単位:百万円)

	平成19年3月期		平成18年3月期
		平成18年3月期比	
(1) 自己資本比率	10.51%	0.30%	10.21%
(2) 基本的項目	140,311	9,671	130,640
(3) 補完的項目	46,433	4,837	41,596
(イ) うち土地の再評価額と再評価の直前の帳簿価額の差額の45%相当額	5,669	△13	5,682
(ロ) うち一般貸倒引当金	8,264	△149	8,413
(ハ) うち期限付き劣後債務	32,500	5,000	27,500
(4) 控除項目	339	238	101
(5) 自己資本(2)+(3)-(4)	186,406	14,271	172,135
(6) リスク・アセット	1,771,952	87,579	1,684,373

【連結】

(単位:百万円)

	平成19年3月期		平成18年3月期
		平成18年3月期比	
(1) 自己資本比率	10.63%	0.25%	10.38%
(2) 基本的項目	144,133	9,881	134,252
(3) 補完的項目	48,049	5,127	42,922
(イ) うち土地の再評価額と再評価の直前の帳簿価額の差額の45%相当額	5,669	△13	5,682
(ロ) うち一般貸倒引当金	9,880	140	9,740
(ハ) うち期限付き劣後債務	32,500	5,000	27,500
(4) 控除項目	339	238	101
(5) 自己資本(2)+(3)-(4)	191,843	14,769	177,074
(6) リスク・アセット	1,803,366	98,580	1,704,786

7. ROE【単体】

(単位:%)

	平成19年3月期		平成18年3月期
		平成18年3月期比	
実質業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)ベース	13.78	△0.79	14.57
業務純益ベース	13.87	△1.76	15.63
当期純利益ベース	7.45	△0.39	7.84

II 貸出金等の状況

1. 自己査定と償却・引当基準

(1) 自己査定

「金融検査マニュアル」等に準拠した「自己査定基準」に則り、債務者区分及び資産分類を厳格に実施しております。

債務者区分

正常先	業況が良好であり、かつ財務内容に特段の問題がない先
要注意先	今後の管理に注意を要する先
破綻懸念先	現状は経営破綻の状況にはないが、今後、経営破綻に陥る可能性の高い先
実質破綻先	法的・形式的な経営破綻の事実は発生していないが、実質的に経営破綻に陥っている先
破綻先	法的・形式的に経営破綻の事実が発生している先

(2) 償却・引当基準

日本公認会計士協会の実務指針及び金融検査マニュアル等に準拠した「償却・引当基準」を制定し、自己査定結果に基づいた償却・引当を実施しております。

一般貸倒引当金

	引 当 基 準
正常先債権	今後1年間の予想損失額を貸倒実績率により算出し、一般貸倒引当金に計上
要注意先債権	要管理先債権(3カ月以上延滞債権もしくは貸出条件緩和債権のある要注意先債権)と要管理先債権以外の要注意先債権を区分し、その区分毎に今後の一定期間における予想損失額を一般貸倒引当金に計上
要管理先債権	今後3年間の予想損失額を貸倒実績率により算出し、一般貸倒引当金に計上
要管理先債権 以外の要注意 先債権	今後1年間の予想損失額を貸倒実績率により算出し、一般貸倒引当金に計上

個別貸倒引当金

	償 却 ・ 引 当 基 準
破綻懸念先債権	担保・保証等により保全のない部分のうち、今後3年間の予想損失額を貸倒実績率により算出し、個別貸倒引当金に計上
実質破綻先債権	予想損失額(担保・保証等により保全のない部分の全額)を個別貸倒引当金に計上もしくは貸倒償却
破綻先債権	

2. リスク管理債権の状況

- ・12年中間期より部分直接償却を実施
- ・未収利息不計上基準：自己査定基準

【単体】

(単位:百万円)

		平成19年3月期	平成18年3月期比	平成18年3月期
リスク管理債権	破綻先債権額	2,743	1,114	1,629
	延滞債権額	42,165	1,306	40,859
	3カ月以上延滞債権額	182	106	76
	貸出条件緩和債権額	22,509	△ 8,048	30,557
	合計	67,600	△ 5,522	73,122
(部分直接償却額)		(14,637)	(2,343)	(12,294)
貸出金残高(末残)		2,451,532	183,415	2,268,117

(単位:%)

貸出金残高比率	破綻先債権額	0.11	0.04	0.07
	延滞債権額	1.71	△ 0.09	1.80
	3カ月以上延滞債権額	0.00	0.00	0.00
	貸出条件緩和債権額	0.91	△ 0.43	1.34
	合計	2.75	△ 0.47	3.22

【連結】

(単位:百万円)

		平成19年3月期	平成18年3月期比	平成18年3月期
リスク管理債権	破綻先債権額	3,868	997	2,871
	延滞債権額	43,048	1,362	41,686
	3カ月以上延滞債権額	183	84	99
	貸出条件緩和債権額	23,937	△ 8,567	32,504
	合計	71,037	△ 6,125	77,162
(部分直接償却額)		(16,891)	(2,675)	(14,216)
貸出金残高(末残)		2,440,258	183,738	2,256,520

(単位:%)

貸出金残高比率	破綻先債権額	0.15	0.03	0.12
	延滞債権額	1.76	△ 0.08	1.84
	3カ月以上延滞債権額	0.00	0.00	0.00
	貸出条件緩和債権額	0.98	△ 0.46	1.44
	合計	2.91	△ 0.50	3.41

3. 貸倒引当金の状況

【単体】

(単位:百万円)

	平成19年3月期		平成18年3月期
		平成18年3月期比	
貸倒引当金	14,362	△ 972	15,334
一般貸倒引当金	8,264	△ 149	8,413
個別貸倒引当金	6,097	△ 823	6,920

【連結】

(単位:百万円)

	平成19年3月期		平成18年3月期
		平成18年3月期比	
貸倒引当金	18,509	△ 389	18,898
一般貸倒引当金	9,880	140	9,740
個別貸倒引当金	8,629	△ 529	9,158

4. リスク管理債権に対する保全率

【単体】

(単位:百万円、%)

		平成19年3月期		平成18年3月期
			平成18年3月期比	
リスク管理債権	(A)	67,600	△ 5,522	73,122
担保等保全額	(B)	46,726	△ 19	46,745
対象貸倒引当金残高	(C)	9,994	△ 2,219	12,213
引当率	(C) / (A - B)	47.87	1.57	46.30
保全率	(B + C) / (A)	83.90	3.28	80.62

5. 金融再生法開示債権

【単体】

(単位:百万円)

	平成19年3月期		平成18年3月期
		平成18年3月期比	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	16,340	3,418	12,922
危険債権	29,177	△ 1,033	30,210
要管理債権	22,691	△ 7,943	30,634
合計 (A)	68,209	△ 5,557	73,766

総与信残高 (B)	2,479,335	184,391	2,294,944
-----------	-----------	---------	-----------

(単位:%)

総与信残高比率 (A) / (B)	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	0.65	0.09	0.56
	危険債権	1.17	△ 0.14	1.31
	要管理債権	0.91	△ 0.42	1.33
	合計	2.75	△ 0.46	3.21

(注) 破産更生債権及びこれらに準ずる債権
危険債権
要管理債権

破綻先債権及び実質破綻先債権
破綻懸念先債権
要注意先債権のうち3か月以上延滞債権及び貸出条件
緩和債権に該当する債権

6. 金融再生法開示債権の保全状況

【単体】

(単位:百万円、%)

	平成19年3月期		平成18年3月期
		平成18年3月期比	
保全額 (C)	57,142	△ 1,532	58,674
貸倒引当金	10,398	△ 1,518	11,916
担保等保全額	46,744	△ 14	46,758

保全率 (C)/(A)	83.77	4.23	79.54
-------------	-------	------	-------

(注) 貸倒引当金には、要管理債権に対する一般貸倒引当金を含めております。

<参考>

金融再生法の開示債権とリスク管理債権の状況【単体】

(単位:百万円)

(単位:百万円)

自己査定結果 (債務者区分別) 対象:貸出金等 与信関連債権		金融再生法の開示基準 対象:貸出金等与信関連債権 ※ 保全率は担保・引当を考慮したもの				リスク管理債権 対象:貸出金	
区 分		区 分	担保・保証に よる保全額	引当額	保全率 (%)	区 分	残 高
破綻先債権		破産更生債権及び これらに準ずる債権	14,831	1,508	100.00	破綻先債権	2,743
実質破綻先債権						16,340	42,165
破綻懸念先債権		危険債権	20,236	4,530	84.88	3カ月以上 延滞債権	182
要 注 意 先 債 権	要管理先債権	要管理債権	11,676	4,359	70.66	貸出条件 緩和債権	22,509
	要管理先以外の 要注意債権	(小計 68,209)	46,744	10,398	83.77	合 計	67,600
正 常 先 債 権		正 常 債 権	(注)要管理債権の引当は一般貸倒引当金				
		2,411,126					
		(合計2,479,335)					

開示基準 ・ 金融再生法の開示債権

自己査定により区分された債務者単位で開示
ただし、要管理債権は債権単位で開示

・ 銀行法のリスク管理債権

貸出金単位で開示
破綻先債権、延滞債権は未収利息を不計上とした
貸出金を対象としています。

7. 業種別貸出金状況等

①業種別貸出金【単体】

(単位:百万円)

	平成19年3月期		平成18年3月期
		平成18年3月期比	
国内店分(除く特別国際金融取引勘定)	2,451,532	183,415	2,268,117
製造業	288,529	20,960	267,569
農業	2,529	△468	2,997
林業	132	8	124
漁業	—	△7	7
鉱業	4,591	△218	4,809
建設業	164,460	△4,429	168,889
電気・ガス・熱供給・水道業	9,539	129	9,410
情報通信業	7,330	965	6,365
運輸業	81,769	12,885	68,884
卸売・小売業	240,592	7,043	233,549
金融・保険業	59,744	△41,905	101,649
不動産業	254,898	44,997	209,901
各種サービス業	240,220	3,986	236,234
地方公共団体	72,446	21,003	51,443
その他	1,024,753	118,466	906,287

②業種別リスク管理債権【単体】

(単位:百万円)

	平成19年3月期		平成18年3月期
		平成18年3月期比	
国内店分(除く特別国際金融取引勘定)	67,600	△5,522	73,122
製造業	7,290	△1,133	8,423
農業	73	△246	319
林業	—	—	—
漁業	—	—	—
鉱業	—	—	—
建設業	6,741	706	6,035
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—
情報通信業	177	△20	197
運輸業	3,800	224	3,576
卸売・小売業	9,594	651	8,943
金融・保険業	13	△150	163
不動産業	17,164	△4,688	21,852
各種サービス業	9,225	△928	10,153
地方公共団体	—	—	—
その他	13,520	59	13,461

③業種別リスク管理債権の貸出金残高比率【単体】

(単位:%)

	平成19年3月期	平成18年3月期比	平成18年3月期
	国内店分(除く特別国際金融取引勘定)	2.75	△ 0.47
製造業	2.52	△ 0.62	3.14
農業	2.88	△ 7.76	10.64
林業	—	—	—
漁業	—	—	—
鉱業	—	—	—
建設業	4.09	0.52	3.57
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—
情報通信業	2.41	△ 0.68	3.09
運輸業	4.64	△ 0.55	5.19
卸売・小売業	3.98	0.16	3.82
金融・保険業	0.02	△ 0.14	0.16
不動産業	6.73	△ 3.68	10.41
各種サービス業	3.84	△ 0.45	4.29
地方公共団体	—	—	—
その他	1.31	△ 0.17	1.48

④個人ローン残高【単体】

(単位:百万円)

	平成19年3月期	平成18年3月期比	平成18年3月期
	個人ローン残高	903,559	58,455
うち 住宅ローン残高	749,872	53,354	696,518
うち その他ローン残高	153,687	5,101	148,586

⑤中小企業等貸出金比率【単体】

(単位:%)

	平成19年3月期	平成18年3月期比	平成18年3月期
	中小企業等貸出金比率	84.30	△ 0.15